

SCHEDULE

		11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
3.16 [FRI]	SCREEN 3 CROSS STREET									18:50開場/ オープニングレセプション 19:00→トーク 20:30→パーティ		
3.17 [SAT]	SCREEN 1 シネマ・ジャック&ベティ	11:00→	東京人間喜劇	13:50→	single+ 着い手/Deepblue	15:45→	君とママとカウボーイ					
	SCREEN 2 横浜ニューテアトル	10:30→	ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム	12:40→	トークショー							
	SCREEN 3 CROSS STREET							17:50開場/18:15→ エディ藩ミニライブ	19:20→ ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム			
3.18 [SUN]	SCREEN 1 シネマ・ジャック&ベティ	11:00→	隼	12:40→	ユリー愛する について	14:10→	ミチコ教会+	16:00→	大地を叩く女+ 不惑のアドージョ			
	SCREEN 2 横浜ニューテアトル	11:00→	ヨコハマメリー	12:35→	トークショー	想いは壁を通り抜けて、好きな人に逢いに行く						
	SCREEN 3 CROSS STREET							18:00開場/18:15→19:45 クロージングトークショー &特別上映 ★				

●SCREEN1では各作品の上映後に15分ほど、監督またはゲストによるトークショーがございます ●すべての作品はデジタル上映となります

料金	前売り1回券	当日1回券	3回券	パスポート
一般	1000円	1200円	2700円	6000円
大・専・シニア	1000円	1000円	2700円	6000円
小・中学生・高校生	—	500円	—	—

●劇場窓口
シネマ・ジャック&ベティ
横浜ニューテアトル

●その他
有隣堂本店 (イセザキモール)

一緒に映画祭をつくりませんか?
ボランティア募集

現在、横浜みなと映画祭ではボランティアスタッフを募集しています。運営、編集、Web制作、ゲストや監督のアテンド、他。下記のアドレスまでメールを送って下さい。
staff@ymff.net

◎各回入替制 ◎オープニングレセプション、クロージングパーティは別途料金がかかります

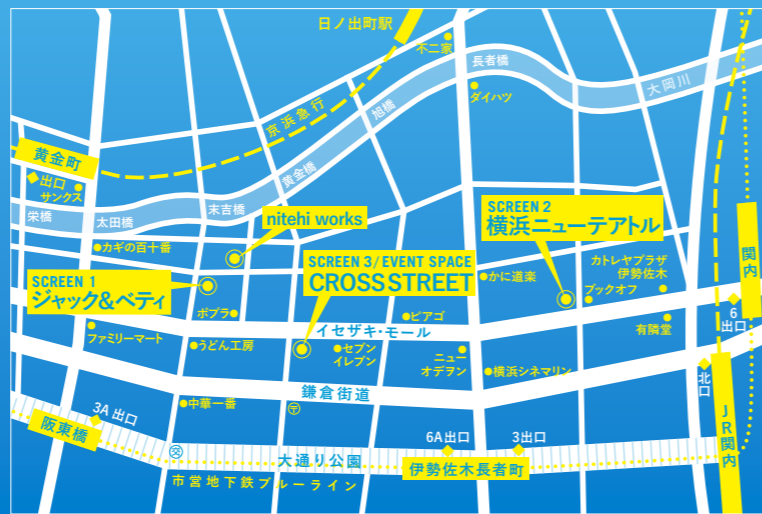
オープニングレセプション 3月16日[金] 19:00-21:30 場所 CROSS STREET トークショー 19:00-20:20 町と映画、そして映画祭 —地域振興型映画祭の可能性 司会 井川広太郎監督 (横浜みなと映画祭 プログラマー) ゲスト 林海象監督、藤岡朝子 (山形国際ドキュメンタリー映画祭 東京事務局ディレクター)、飯田淳二 (TAMA CINEMA FORUM ディレクター)、アミール・ナデリ監督 レセプション・パーティ ※軽食付き 20:30-21:30 映画祭のゲストや監督も参加し、映画祭オープニングを地元の方や映画ファンとともに祝います。	料金 1000円 (トークショー+レセプションパーティ+パンフレット付) ※オープニングトークショーのみ参加は200円	クロージングパーティ 3月18日[日] 20:00-22:00 場所 nitelhi works 料金 1000円 (ドリンク+おつまみ) ※映画祭期間中(3.18日)、各作品の上映とトークイベント後に監督またはゲストとの交流会を予定しています。 ※映画の半券をご持参の方は、nitelhi worksでのアルコール100円引き、ソフトドリンク50円引きとなります。(半券持参割引は、クロージングパーティには適用出来ません) nitelhi works: 東 45 年の元金銀博覧会を改装したオープンスペース&カフェ。横浜市中区若葉町3-47-1 http://www.nitelhi.jp/ TEL:045-334-7446
不惑の映画 —映画祭から劇場公開、そして世界へ 3月18日[日] 18:15-19:45 場所 CROSS STREET 司会 中村高寛監督 (横浜みなと映画祭 プロデューサー) ゲスト 高橋康進監督、福島拓哉監督 その他、ゲスト(未定) 特別上映 各作品の予告編のほか、特別映像も上映 入場 無料 (映画半券またはパスポートをご提示ください) ※お持ちでない方は別途料金200円がかかります		

CONTACT

映画祭お問合せ TEL:045-243-9800 [シネマ・ジャック&ベティ内]
 ホームページ: <http://www.ymff.net/>
 Twitter: @ymff_official
 Facebook: 横浜みなと映画祭

ACCESS

シネマ・ジャック&ベティ 住所: 横浜市中区若葉町 3-51
 TEL: 045-243-9800 <http://www.jackandbetty.net/>
 横浜ニューテアトル 住所: 横浜市中区伊勢佐木町 2-8-1
 TEL: 045-261-2995 <http://yokohamaneitheatre.web.fc2.com/>
 CROSS STREET 住所: 横浜市中区伊勢佐木町 4-123
<http://www.cross-street.info/>
 主催: 横浜みなと映画祭実行委員会
 後援: 一般社団法人 吉田町名店街会 / 神奈川県興行生活衛生同業組合 / 神奈川県新聞社 / 関内まちづくり振興会 / 協同組合 伊勢佐木町商店街 / 横浜市文化観光局 創造都市推進課 (横浜市映画祭開催支援認定事業) / 若葉町町内会 / tvk
 イセザキモール IZs, I♥濱
 協力: 横浜ニューテアトル/シネマ・ジャック&ベティ / CROSS STREET
 協賛: 株式会社 山陽印刷株式会社 / 株式会社 山陽印刷株式会社 / 株式会社 山陽印刷株式会社



第1回

横浜

映画興行の町「イセザキ」、復活!

みなと

世界が認めた日本の才能が横浜に集結

映画祭

会場 | シネマ・ジャック&ベティ SCREEN 1 | 横浜ニューテアトル SCREEN 2 | CROSS STREET SCREEN 3 / EVENT SPACE

3.16 [FRI]
↓
3.18 [SUN]
<http://www.ymff.net/>

横浜みなと映画祭

YOKOHAMA
MINATO
FILM FESTIVAL



SCREEN 1

会場 | シネマ・ジャック&ベティ

世界で賞賛、評価を得ながらも不遇の扱いを受ける優れた映画＝若き才能たちが“シネコン”で上映される映画ばかりが映画じゃない！国内ではまだ上映機会が少ない日本映画を、かつて映画興行の町だった伊勢佐木町で封切り、紹介していく。

モノクロ短作品

東京人間喜劇

3月17日[土] 11:00 ・・・



2008年/日本/139min.
監督：深田晃司
パリシネマ国際映画祭 2010 正式招待作品、CINEDRIVE2010 大賞受賞、他

文豪バルザックの作品群「人間喜劇」に着想を得て、恋人、友人、妻、夫、誰かといながらも孤独の中に在る「現代人の悲喜劇」を描いた3つの短編。劇団青年団の俳優が総出演。監督は、「歓待」で2010年東京国際映画祭日本映画・ある視点部門作品賞を受賞した、気鋭の映像作家の一人。

国際上映

蒼い手 / Deep blue

3月17日[土] 13:50 ・・・



2011年/日本/27min.
監督：中江和仁
モナコ国際映画祭ベストショートオリジナルストーリー賞受賞&助演男優賞受賞、他

故郷を飛び出した女が子供を連れて久しぶりに帰郷し、不仲だった家族と再会する。桐生市を舞台に、染色によって青くなった手をモチーフにして地域発の映画のあり方を示しつつ、素人俳優や子供をも見事に演出する手腕が発揮された作品。

単

3月18日[日] 11:00 ・・・



2005年/日本/73min.
監督：市井昌秀
第28回びあフィルムフェスティバル準グランプリ&技術賞受賞、香港アジア映画祭 New Talent Award グランプリ獲得、他

貧乏で、間抜けで、いい加減だけど、どこか憎めない。不器用な愛情をストレートにぶつける夫婦の突っ立けるラブストーリーであり、軽快さと深いテーマ性を併せ持つ傑作エンターテインメント。第一回黄金町映画祭で上映され好評を博した。

国際上映

ミチコ教会

3月18日[日] 14:10 ・・・



2008年/日本/28min.
監督：八幡亜樹
六本木クロッシング 2010 一芸術は可能かー、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業制作

山の中腹の掘り立て小屋のような教会で暮らす老女を捉える。現実と虚構の境目を日常の中に再構築するという独特の作風が鮮烈。アートシーンでも注目される本作は、第一回黄金町映画祭で上映され、話題を呼んだ。

クロージング作品/同時上映

大地を叩く女

3月18日[日] 16:00 ・・・



2008年/日本/21min.
監督：井上都紀
ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 2008 オフシアター部門グランプリ受賞、フランス・クレルモンフェラン映画祭審査員特別賞、他

肉屋でヒレカツ用の肉を叩き続ける女性が、そのリズムによって自分を解放していく様を描いた短編ドラマ。主人公の妄想の中で、炸裂するドラマの演奏シーンと、肉屋での単純作業の退廃感とのギャップが、観る側の脳裏と鼓膜に鮮烈な印象を残す。

君とママとカウボーイ

3月17日[土] 15:45 ・・・



2010年/日本/104min.
監督：稲葉雄介
第4回シネマ・デジタル・ソウル映画祭コンペティション部門ノミネート

虚無な男が無為に繰り返す怠惰な日常を描きつつ、その反復の中に潜められた豊穣なアクションをあぶりだすことで、静謐なモノクロの画面が鏡舌に語り出し映画の激情がほとぼしる。多くのシーンが横浜で撮られていることにも注目したい。

single



2005年/日本/61min.
監督：中江和仁
第28回びあフィルムフェスティバル観客賞受賞、第25回バンクーバー国際映画祭、他

独身の男が突然、かつての恋人との間に知らぬうちに出来ていた息子と同居することになる。血は繋がっていないが他人である二人が少しずつ関係性を築くことで家族が誕生する瞬間を、独特の情感を湛えた映像で丁寧に描写する。

ユリ——愛するについて

3月18日[日] 12:40 ・・・



2009年/ドイツ/66min.
監督：東恵美子
山形国際ドキュメンタリー映画祭市民賞受賞、Starter-Filmpreis2008

24歳在日3世のユリと72歳自称右翼の「おっちゃん」。2人は瀬戸内海の小さな島で恋に落ちた。彼らの5年間に渡る愛の軌跡が、ドイツで映画を学ぶ「私」によって、甘く、時に苦い余韻を残しながら詩的に描かれてゆく。全編を通してたゆたう静けさと光の美しさが印象的な作品。

想いは壁を通り抜けて、好きな人に逢いに行く



2011年/日本/55min.
監督：埴安祐良
第12回 TAMA NEW WAVE コンペティションノミネート、福井映画祭 2011、他

塾の講師に想いを寄せる少年は、彼女が毎日アザを作って教室に来るのは彼氏に暴力をふるわれているからだと思い、自力で助けようと計画する。ひねりの効いた演出が小気味良く展開し、同時に役者たちの素晴らしい演技を引き出している。

不惑のアダージョ



2009年/日本/70min.
監督：井上都紀
ロッテルダム国際映画祭 2010 Tiger Award 長編コンペティション出品、他

「更年期をむかえる修道女」を主人公に据え、不惑近隣の女性の「性」を、時にユーモアを交えつつ正面から描いている。紅葉の中を歩くシスター、光の中で踊るバレエダンサーなど、絵画のようなシーンが随所にちりばめられている。

SCREEN 2

会場 | 横浜ニューテアトル

横浜は、数多くの映画の舞台となってきた。しかし、日本全国で作られてきた“町おこし映画”のように、横浜の地域、その土地性が取り上げられたことは殆どない。ここでは日本映画史において、重要なロケ地となってきた横浜映画＝ハマシネを発掘、上映する。

ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム

3月17日[土] 10:30 ・・・



2004年/日本/130min.
監督：サンマーメン
音楽：ミッキー吉野
出演：ザ・ゴールデン・カップス (デイヴ平尾、ケネス伊東、エディ藩、ルイズルイス加部、マモル・マヌー、ミッキー吉野)、他

1966年に横浜・本牧で誕生した本格実力派バンド「ザ・ゴールデン・カップス」。元メンバーによるインタビューや、解散から31年ぶりに行われた復活ライブの映像とともに、彼らの偉大なる足跡を振り返る音楽ドキュメンタリー。

ゲストトークショー

司会：三上義一 (作家「ヨコハマ・イエスタデーズ」)
小金丸峰尾 (ナポレオン党) / エディ藩 / サリー、ジュンコ
60年、70年代のヨコハマ。「ザ・ゴールデン・カップス」が騒がれながらも、本当の町の主役は、スポーツカーを乗り回し、ダンスパーティーを催していた「ナポレオン党」だった。そのリーダーの小金丸峰尾が掲げた「不良は文化…」の意味とは何だったのか？当時の関係者が集まり、語り明かしていく。

ヨコハマメリー

3月18日[日] 11:00 ・・・



2006年/日本/92min.
監督：中村高寛
撮影：中澤健介、山本直史
出演：永登元次郎、五大路子、清水節子、団鬼六、山崎洋子、森日出夫、他
第25回バンクーバー国際映画祭、第30回湯布院映画祭、他

一人の婦婦を追うことで横浜の街と人と歴史をたどっていくドキュメンタリーで、近年を代表する横浜映画。被写体と真摯に向き合い丁寧に証言を重ねつつ、映画的なダイナミズムも併せ持ち、ドキュメンタリーの枠に収まらず、国内外で絶賛されている。

ゲストトークショー

森日出夫 (写真、出演)、中村高寛 (監督)、他
メリーさんが逝去して7年、伊勢佐木町での上映から6年。横浜だけでも3万人以上の観客を動員した公開当時の熱狂を振り返り、「ハマのメリーさん」とは何だったのか？映画は何を残せたのかを、制作にたずさわった関係者たちが語り合う。

各作品の上映後に、監督またはゲストによる30分ほどのトークショーがございます。

SCREEN 3 / EVENT SPACE

会場 | CROSS STREET [伊勢佐木映画祭と共同開催]

「伊勢佐木町ブルース」の歌碑が目印のイベント・スペース。豪華ゲストによるトークショーやオープニングパーティ、映画上映とその作品にちなんだミニライブなど、映画祭を彩るイベントが連日開催される。



エディ藩ミニライブ&上映

「ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム」
3月17日[土] 17:50 開場 18:15 -
エディ藩 / 1947年、横浜・中華街生まれ。60年代後半に一世を風靡した、横浜本牧発のGSグループ「ザ・ゴールデン・カップス」のギタリスト。現在も横浜を中心に音楽活動を行っており、「ハマのブルース・キング」として多くの人々に愛されている。
◎映画の鑑賞料金をミニライブにご参加いただけます。
◎横浜ニューテアトルで「ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム」を鑑賞された方は、そちらの半券をご持参いただくとライブ入場が可能となります。

オープニングトークショー

町と映画、そして映画祭

——地域振興型映画祭の可能性

3月16日[金] 18:50 開場 19:00—20:20



林海象 アミール・ナデリ

司会者 | 井川広太郎 (「横浜みなと映画祭」プログラマー/映画監督)
ゲスト | 林海象 (映画監督 演マイクシリーズ「我が人生最悪の時」など)
藤岡朝子 (「山形国際ドキュメンタリー映画祭」東京事務局ディレクター)
飯田淳二 (「TAMA CINEMA FORUM」ディレクター)
アミール・ナデリ (映画監督「CUT」「駆ける少年」)

地方都市のシャッター通り、都市の空洞化が問題となって久しいが、映画興行も同様の問題を抱えている。大手資本によるシネコンの隆盛で、町の映画館が閉鎖の憂き目にあっているのだ。それは「封切り館 (新作を初上映する映画館)」という言葉の発祥地でもあり、映画興行の町として栄えた伊勢佐木町においても例外ではない。伊勢佐木町において、映画、そして映画祭による地域振興は可能なのか？ そのためには何が必要なのか？
本イベントでは、「山形国際ドキュメンタリー映画祭」や「TAMA CINEMA FORUM」、また世界の映画祭の現状を聞きながら、パネルディスカッションをおこなう。

クロージングトークショー&特別上映

不惑の映画

——映画祭から劇場公開、そして世界へ

3月18日[日] 18:00 開場 18:15—19:45



福島拓哉 高橋康進

司会者 | 中村高寛 (「横浜みなと映画祭」プロデューサー/映画監督)
ゲスト | 高橋康進 (映画監督「ロックアウト」)
福島拓哉 (映画監督「アウ・ブリーフ・エタニティ / OUR BRIEF ETERNITY」)
その他、ゲスト (未定)
特別上映 | 各作品の予告編のほか、特別映像も上映！

国内外の映画祭での評価を足場に劇場公開などを実現していく映画がある。高橋康進監督「ロックアウト」は2009年の第2回黄金町映画祭で上映後に劇場公開、福島拓哉監督「アウ・ブリーフ・エタニティ」は劇場公開と同時に2010年の黄金町映画祭スピンオフトークショーで監督自身がゲストとして登壇。さらに、2012年3月に二作品それぞれDVDがリリースされる。そこで、海外の映画祭での様子に加え、地域に根ざした映画祭の意義、そこをステップにした劇場公開やDVDリリースと長きに渡って作品にたずさわっていく苦労と喜びを語ってもらう。

各作品の上映後に、監督またはゲストによる15分ほどのトークショーがございます。

※イベントに関しましては、当日予告なく変更の可能性があります。

※各日とも満席の場合、入場をお断りすることがありますがご了承ください